協議資料１

協議事項１　天生線（月ヶ瀬線）の廃線について

１．協議事項の概要

内容	天生線（月ヶ瀬線）の廃線について
概要	032 天生線（月ヶ瀬線）について、利用状況やアンケート調査の結果から、前回会議にて廃線の方針を打ち出していた。その後、交通事業者との協議や地域住民への説明会を経て、今回の会議において路線の廃線を諮るもの。

２．O32 天生線廃線に関する経緯と利用状況

経緯

○令和８年２月９日

運行事業者の**運転手不足のため臨時運休**とした。この臨時運休の措置に対する**住民からの要望、問い合わせ等はなかった**。

○同５月１日～20 日

沿線地域の全世帯を対象としたアンケート調査を実施した（回答率：61.93%）。天生線を**日常的に利用していたと回答したのは８人**で、そのうち、**臨時運休によって移動が不便になったと回答したのは２人**だった。

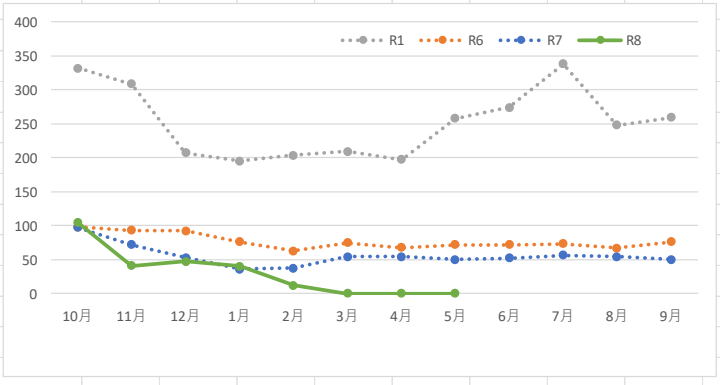
○同６月４日

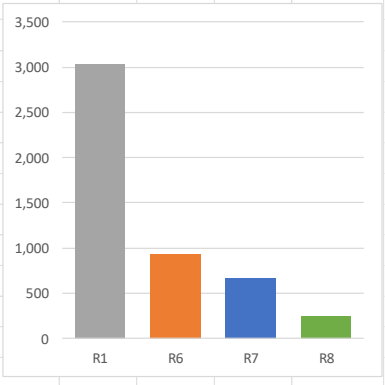
令和８年度第１回飛騨市公共交通会議にて、上記アンケート調査の結果を報告した。同時に、天生線について**廃線**の方針で見直しを進めることを報告した。

利用状況

O32　天生線（月ヶ瀬線）　（人）

バス年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
R1	332	309	207	195	204	209	197	258	274	338	248	259	3,030
R4	126	117	115	85	81	77	110	103	120	106	126	108	1,274
R5	116	109	102	98	100	106	114	92	114	103	81	97	1,232
R6	98	93	92	76	63	75	68	72	72	73	67	76	925
R7	97	72	53	36	37	54	54	50	52	56	54	50	665
R8	104	41	47	40	12	0	0	0					244
前年度比	107.2%	56.9%	88.7%	111.1%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.7%
R1年度比	31.3%	13.3%	22.7%	20.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%





協議資料１

説明会

天生線の廃線について、次のとおり地域住民への説明会を実施した。
日時：８月７日（金）　１４：００～１５：００
会場：河合町コミュニティセンター　研修室１
参加者：**１３名**

	参加者意見	市からの回答
１	天生線がなくなると、バスで古川へ行く手段がなくなってしまう。	乗合タクシーによって JR 角川駅までの移動手段は確保されている。そこからは JR の沿線地域となることから、市営バスのサービスとしてできることに限りがある。
２	説明会が平日の昼間では参加できない人もいるのではないか。	公共交通の利用者をターゲットとしているためこの時間設定になった。
３	乗合タクシーの予約受付時間を延長してほしい。	事業者と調整し、対応を検討する。

廃線後の課題

利用状況やアンケート結果からも、天生線の利用者は限定的であるということが判明した。したがって、**廃線による影響は極めて小さい**と考えている。また、同地域には河合宮川乗合タクシーがあるため、**日中の交通手段は既に確保**されている。
加えて、天生線で運行していたスクール混乗便については、臨時運休となった時点から、代替となるスクール便を運行しており、**小中学生の登下校も確保**されている。

ただし、高校生の通学については、次の①、②の要素を考慮した上で、対応を検討する必要がある。

①『第２次飛騨市地域公共交通計画』（以下、『計画』）において、「最低限のＱＯＬ」の確保として、通学については、「可能な限り高校生が**市内の高校に通学できる**ようにする」ことを目的としている。（令和７年度時点で 98.7%）

②現状では**沿線地域にバスを利用して高校通学している者はいない**が、同地域には**中学３年生が４人**いることがわかっている。

【乗降場所】羽根　　角川駅から 5.7km　　１人（A）
　　寺下　　〃　　2.5km　　１人（B）
　　診療所　　〃　　1.8km　　１人（C）
　　角川駅　　〃　　1.0km 以内　１人（D）

『計画』において、公共交通のカバー域を「**駅から半径１km、バス停から半径 500m の範囲**」としている。したがって、Ａ～Ｃの生徒については、少なくとも**角川駅と自宅間を移動できる交通手段**について検討する必要がある。

協議資料１

【参考】河合宮川エリアの状況（令和８年 10 月１日～）

【天生】	登校	下校
保育園	なし（０人）	なし（０人）
小学生	スクール専用	スクール専用
中学生	スクール専用 （角川駅で宮川線３便に乗り換え）	スクール専用 （中学校からは宮川スクールに同乗、角川駅でスクール便に乗り換え）
高校生	なし	河合宮川乗合タクシー（17 時まで）

【稲越】	登校	下校
保育園	稲越線５便	スクール専用
小学生	稲越線３便	スクール専用
中学生	桃源郷線１便（スクール混乗）	スクール専用
高校生	桃源郷線１便	桃源郷線６便 or８便

【宮川】	登校	下校
保育園	スクール専用（同乗）	スクール専用
小学生		スクール専用
中学生	宮川線３便（スクール混乗） （角川駅で天生の生徒と合流）	スクール専用 （天生の生徒も同乗）
高校生	宮川線３便	宮川線６便 or８便（予約制）

３．T01 河合宮川乗合タクシーの運行時間拡大について

見直しの概要

河合宮川乗合タクシーの運行時間を次のとおり見直すこととしたい。

	現行	見直し案	適用日
平日	８：３０～１６：３０	８：３０～**１７：００**	令和８年 10 月１日から
土日祝日	９：００～１７：００	９：００～１７：００	

運行見直しによる効果

夕方の河合宮川乗合タクシーと JR との接続については、過去にも何度から利用者や事業者から要望があったところであるが、上のとおり運行時間を拡大することでそれが解消される。

【参考】飛騨古川駅 16:19 発（普通列車）
角川駅 16:33 着　坂上駅 16:39 着　打保駅 16:50 着　杉原駅 16:55 着

協議資料１

４．今後の課題と方針

課題

天生線沿線地域の高校生の通学手段の確保案

【案①】河合宮川乗合タクシーの運行時間の更なる拡大

	令和８年 10 月から	令和９年４月から
平日	８：３０～１７：００	７：００～１９：００
土日祝日	９：００～１７：００	９：００～１７：００

上記の運行時間とすることで、

・登校

小中学生のスクール便を**河合宮川乗合タクシーに統合**する。

小中学生はこれまで通り無償で、高校生は**有償で利用**できる。

・下校

遅い時間の下校にも対応できる。

【参考】飛騨古川駅 18:07 発（普通列車）

角川駅 18:29 着　坂上駅 18:35 着　打保駅 18:46 着　杉原駅 18:51 着

※ これまでは天生線のデマンド便（10 便）を前日までに予約することで乗り継ぎが可能となっていた。

【案②】スポット便の運行

白川町、東白川村の「おでかけしらかわ」で７月４日から始まった新たな運送サービスを参考として、飛騨市版のスポット運行サービスを検討する。

・おでかけしらかわの事例・

運行時間：午前９時～午後 10 時

利用料金：初乗り（10 分間）

乗用車タイプ　1,500 円

ワゴンタイプ　3,000 円

※ 以降は、１分ごとに 100 円が加算

利用方法：前日までに予約、利用登録不要

飛騨市においては、タクシーを活用した輸送が考えられる。

例）角川駅～自宅間（天生方面のみ）のタクシー利用を対象として、一律料金、事前登録制で利用できるサービス